

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

平成28年度聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会に参加して



11月15日（火）～17日（木）、兵庫県聴覚障害者情報センターにて、NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会主催の平成28年度聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会に菊池友達職員を派遣しました。以下はその報告です。

全国の情報提供施設から48名集まりました。

初日は熊本県聴覚障害者情報提供センターの小野康二さんによる「熊本地震での情報提供施設としての取り組み」、兵庫県聴覚障害者協会の嶋本事務局長の「1995年に兵庫で発生した「阪神淡路大震災」の経験から情報提供施設に期待するもの」の二つの講演があり、災害時の情報提供施設の支援体制や聴覚障害者へケア対策について考えさせられました。

2日目はろう者講師から「聴覚障害者の映像制作あるある」のテーマで音に困るなどの参考になる話がありました。次に兵庫県センターの映像制作の活動や成果などの話は、映像を見ることもできたので分かりやすく、富山にないやり方で新鮮に思いました。「映像制作委員会」を立ち上げ職員だけでなく、協会の映像の得意な人、また手話関係者の中から経験のある人、地元の大学生も入れてチームを作っているとのことでした。他の情報提供施設の制作状況も報告があり、それぞれとても参考になりました。この後、新しい技術「4K」、「フルハイビジョン」についての学習、撮影時のスポットライトの調整や絞りなどの収録関係の学習をしました。

3日目は2グループに分かれて、「震災時の施設のあり方」、「聴覚障害者が求める映像づくり」、「ビデオライブラリーに対する施設の対応」など討論しました。職員の悩みなどを知り刺激を受け有意義な研修会でした。

この研修で得たことを少しずつ職場に活かせるように頑張りたいと思いました。



センター利用の実績 10月21日～11月20日

- 来所者 合計約490名
聴障者約208名、健聴者約282名
- コミュニケーション支援コーディネート115件
- ライブラリー貸出 0件
- 相談対応4件 ●部屋貸出41件

★センター運営募金を

お寄せ下さい★

郵便振替口座；

00790 - 0 - 93002

名称；富山県聴覚障害者

センターを支える会

宮田 芳美さん 3,000円

匿名 6,000円